



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 大王製紙株式会社

コード番号 3880 URL <http://www.daio-paper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐光 正義

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 矢野 雅史

TEL 03-6895-1014

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	332,097	4.8	15,351	44.0	12,406	74.0	7,391	460.9
26年3月期第3四半期	316,763	4.0	10,658	44.6	7,131	103.9	1,317	△89.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 16,034百万円 (162.5%) 26年3月期第3四半期 6,108百万円 (△62.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	52.86	—
26年3月期第3四半期	10.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	670,705	152,796	21.3
26年3月期	646,112	119,252	17.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 142,842百万円 26年3月期 109,793百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	4.50	8.50
27年3月期	—	4.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	4.6	22,000	37.1	20,000	77.7	11,000	74.8	75.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	149,348,785 株	26年3月期	129,018,785 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	3,604,761 株	26年3月期	3,596,036 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	139,834,094 株	26年3月期3Q	121,090,895 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 連結範囲の変更	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (1) 業績等の状況

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、緩やかな回復基調となっておりますが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等により国内経済の持ち直しの動きは鈍く、中国をはじめとした新興国経済の景気減速、欧州景気の下押し懸念及び原油価格の急落等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

紙パルプ業界におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等により内需が低調に推移するなか、古紙価格や円安に伴う輸入原材料価格が上昇する等、引き続き厳しい事業環境となっております。

このような状況の中で、当社グループは平成26年度を最終年度とする中期事業計画（平成24年9月7日発表）達成に向け、紙・板紙事業ではグループ一体となったコスト低減の取組みや、いわき大王製紙のマシン増設による板紙・段ボール事業の強化を進めております。

また、ホーム&パーソナルケア事業では、国内でベビー・大人用紙おむつを中心とした拡販を進めるとともに、成長著しいアジア市場において、タイ及び中国(南通)で現地生産工場を立ち上げるなど、ベビー用紙おむつを中心とした事業の展開を推進しております。当社グループの成長分野であるホーム&パーソナルケア事業のフェミニンケア用品・ベビー用紙おむつ及び大人用紙おむつを生産する新工場(福島県いわき市)の建設、当社可児工場のティッシュ生産設備の拡充、中国(南通)でのベビー用紙おむつの加工能力を拡充するため、平成26年7月までに18,583百万円の新株式発行による資金調達を行いました。

当社グループは、成長分野への投資による収益力の向上を通じて有利子負債の削減を進め、財務安定性の向上及び財務基盤の強化に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

連結売上高	332,097 百万円	(前年同四半期比 4.8%増)
連結営業利益	15,351 百万円	(前年同四半期比 44.0%増)
連結経常利益	12,406 百万円	(前年同四半期比 74.0%増)
連結四半期純利益	7,391 百万円	(前年同四半期比 460.9%増)

セグメントの状況は、次のとおりであります。

#### ①紙・板紙

売上高	214,422 百万円	(前年同四半期比 2.1%増)
セグメント利益	10,115 百万円	(前年同四半期比 34.8%増)

新聞用紙は、広告出稿量の増加により頁数が微増となりましたが、発行部数減少の影響が大きく、販売数量・金額ともに前年同四半期を下回りました。

印刷用紙は、消費税率引き上げ後、チラシなどの需要が落ち込んだことにより、販売数量は前年同四半期を下回りました。一方、販売金額は前期の価格修正に加え、品種構成改善を推進したことにより、前年同四半期を上回りました。

板紙・段ボールは、夏場の天候不順により飲料等の夏場需要が落ち込んだものの、青果物等の秋物需要の増加及びいわき大王製紙での新マシン稼働もあり、販売数量は前年同四半期並となりました。一方、販売金額は段ボールにおいて原材料価格高騰分の製品価格への転嫁遅れがあったものの、板紙で原紙値上げを進めた結果、前年同四半期を上回りました。

#### ②ホーム&パーソナルケア

売上高	108,206 百万円	(前年同四半期比 9.9%増)
セグメント利益	8,159 百万円	(前年同四半期比 6.1%増)

衛生用紙は、ほのかな香りがついた「香織る+ (かおるプラス) ティッシュ」や通常の2倍の長さでたっぷり使える「i:na (イーナ) トイレットティッシュ」等の新商品に加え、より収益性の高い「エリエール+ Water」、「贅沢保湿ティッシュ」及び「フラワープリントトイレットティッシュ」等の製品拡販に取り組んだ結果、販売数量・金額ともに前年同四半期を上回りました。

大人用紙おむつは、家庭用では、慣れない方でも簡単に使用できる「すきまモレ安心」シリーズの新商品、吸収スピードを改善した軽失禁「さら肌パッド」の配荷拡大に取り組んだ結果、販売数量・金額ともに前年同四半期を上回りました。また、介護施設用では、鳥取大学協力のもと尿モレ防止を強化した「アテントSケア長時間安心パッドダブルブロックタイプ」の発売もあり、販売数量・金額ともに前年同四半期を上回りました。

ベビー用紙おむつは、海外向けの販売が好調なことに加え、国内においてもイヤなニオイを香りに変える新商品「GOO.Nアロマジック」を軸に差別化を図るとともに、季節に応じたデザインを付した商品を販売することによって配荷拡大に取組んだ結果、販売数量・金額ともに前年同四半期を上回りました。

フェミニンケアは、「elis Megami」において、肌トラブル改善に着目した商品改良を進めるとともに、「elis ウルトラガード 朝まで超安心・極吸（ごくすい）」の期間限定商品を販売することによって配荷拡大に取組んだ結果、販売数量・金額ともに前年同四半期を上回りました。

③その他

売上高	9,468 百万円	(前年同四半期比 15.5%増)
セグメント利益	1,174 百万円	(前年同四半期比 112.8%増)

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24,593百万円増加し、670,705百万円となりました。主な増加要因は、増資による現金及び預金の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ8,950百万円減少し、517,909百万円となりました。主な減少要因は、社債の償還及びその他有利子負債の削減によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ33,544百万円増加し、152,796百万円となりました。主な増加要因は、新株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ9,291百万円増加したことによるものであります。また、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.3ポイント上昇し、21.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月11日に発表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

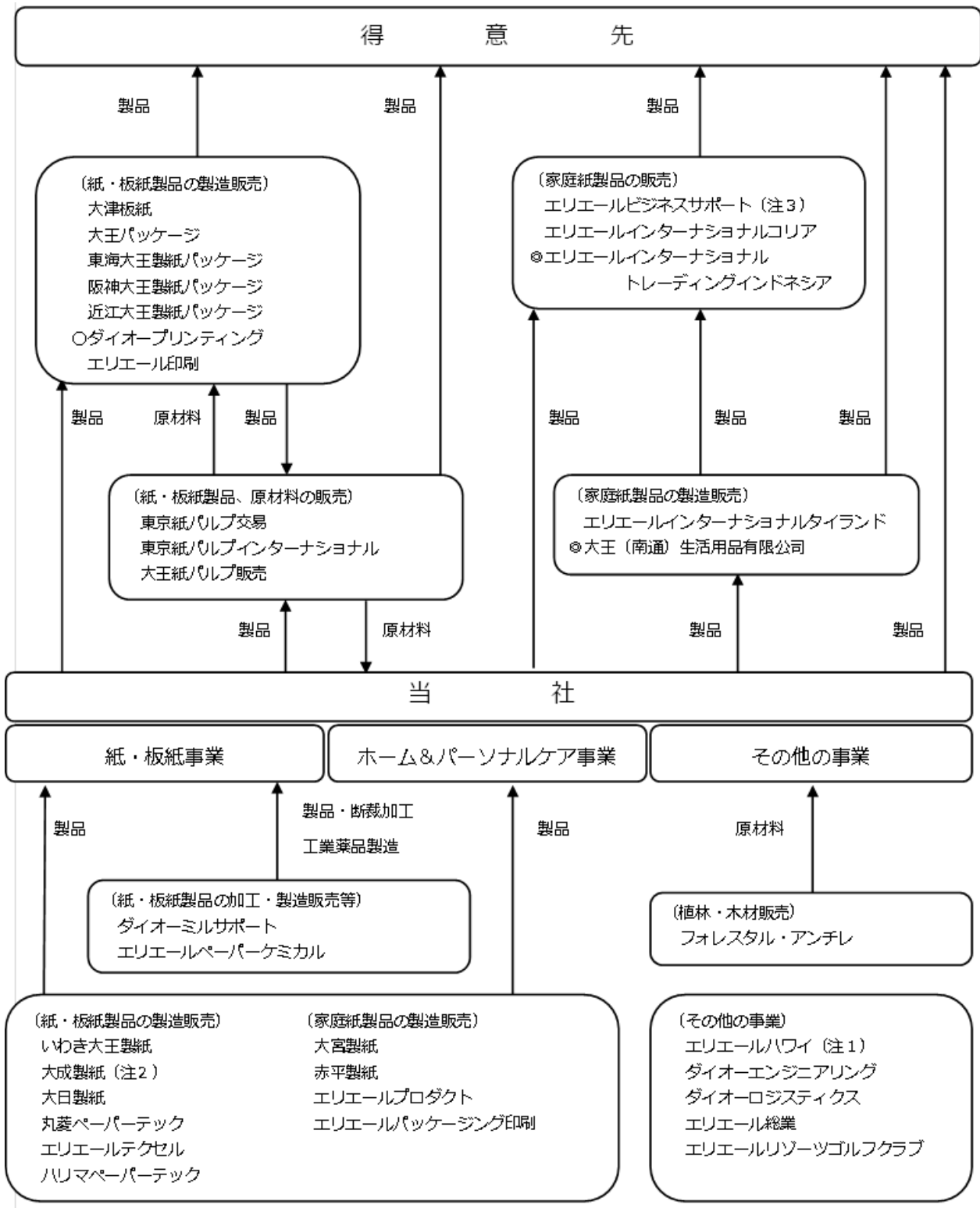
(2) 連結範囲の変更

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、大王（南通）生活用品有限公司及びPT. エリエールインターナショナルトレーディングインドネシアの2社を連結の範囲に含めております。

また、平成26年4月1日に、末広印刷株式会社・株式会社美幸堂・コンピュータ印刷株式会社（以上連結子会社）及びスエヒログラフィックアーツ株式会社（非連結子会社）の4社が合併し、ダイオープリンティング株式会社（連結子会社）となりました。これにより、当第3四半期連結会計期間末における連結子会社数は33社となりました。

上記の異動を踏まえた事業系統図は次頁のとおりであります。

無印	前連結会計年度末における連結子会社	30社
◎	非連結子会社から連結子会社に異動した会社	2社
○	平成26年4月1日に合併した連結子会社	1社



(注) 1. エリエールハワイINCを親会社とするエリエールハワイINCグループを連結子会社の1社としております。  
2. 大成製紙株式会社は、紙・板紙製品及び家庭紙製品を製造販売しております。  
3. 平成26年4月に「富士ペーパーサプライ株式会社」から社名を変更いたしました。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が73百万円増加し、利益剰余金が73百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	85,838	101,010
受取手形及び売掛金	86,194	94,432
たな卸資産	58,590	66,122
その他	13,260	10,049
貸倒引当金	△12	△6
流動資産合計	243,871	271,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	63,130	63,097
機械装置及び運搬具(純額)	127,054	131,952
土地	79,569	75,801
その他(純額)	16,537	13,957
有形固定資産合計	286,290	284,808
無形固定資産		
のれん	63,724	60,113
その他	3,296	3,686
無形固定資産合計	67,020	63,800
投資その他の資産	48,851	50,342
固定資産合計	402,163	398,951
繰延資産	77	145
資産合計	646,112	670,705



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,700	52,853
短期借入金	58,950	43,960
1年内返済予定の長期借入金	96,659	100,368
未払法人税等	3,546	1,048
引当金	4,448	2,248
その他	44,939	51,587
流動負債合計	253,243	252,066
固定負債		
社債	25,640	10,330
長期借入金	215,283	223,243
長期設備関係未払金	7,031	5,388
退職給付に係る負債	17,395	17,867
役員退職慰労引当金	340	360
環境対策引当金	198	130
関係会社事業損失引当金	51	67
その他	7,675	8,455
固定負債合計	273,616	265,842
負債合計	526,860	517,909
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,415	39,707
資本剰余金	30,293	39,585
利益剰余金	58,319	64,594
自己株式	△2,882	△2,891
株主資本合計	116,146	140,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,182	8,579
為替換算調整勘定	△7,151	△5,662
退職給付に係る調整累計額	△1,382	△1,070
その他の包括利益累計額合計	△6,352	1,846
少数株主持分	9,459	9,953
純資産合計	119,252	152,796
負債純資産合計	646,112	670,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	316,763	332,097
売上原価	247,251	254,732
売上総利益	69,512	77,364
販売費及び一般管理費	58,853	62,013
営業利益	10,658	15,351
営業外収益		
受取利息	104	143
受取配当金	485	509
為替差益	259	649
その他	2,072	1,737
営業外収益合計	2,923	3,040
営業外費用		
支払利息	5,263	4,477
その他	1,186	1,507
営業外費用合計	6,450	5,984
経常利益	7,131	12,406
特別利益		
固定資産売却益	737	337
その他	490	159
特別利益合計	1,228	496
特別損失		
固定資産除売却損	442	648
投資有価証券評価損	126	15
減損損失	3,379	233
災害による損失	97	70
その他	469	21
特別損失合計	4,515	989
税金等調整前四半期純利益	3,844	11,914
法人税、住民税及び事業税	2,519	1,817
法人税等調整額	△798	2,377
法人税等合計	1,720	4,195
少数株主損益調整前四半期純利益	2,123	7,718
少数株主利益	806	327
四半期純利益	1,317	7,391

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,123	7,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,630	6,455
為替換算調整勘定	2,353	1,547
退職給付に係る調整額	—	312
その他の包括利益合計	3,984	8,315
四半期包括利益	6,108	16,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,066	15,590
少数株主に係る四半期包括利益	1,041	443

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月17日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ6,342百万円増加し、同日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,998百万円増加しております。

また、平成26年7月16日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ951百万円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ9,291百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が39,707百万円、資本剰余金が39,585百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・板紙	ホーム&パーソ ナルケア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	210,075	98,490	308,566	8,197	316,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,796	795	11,591	31,834	43,426
計	220,872	99,286	320,158	40,032	360,190
セグメント利益	7,505	7,689	15,194	551	15,746

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、運送業、売電事業及びゴルフ場事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	15,194
「その他」の区分の利益	551
セグメント間取引消去	△496
全社費用(注)	△4,590
四半期連結損益計算書の営業利益	10,658

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・板紙	ホーム&パーソ ナルケア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	214,422	108,206	322,628	9,468	332,097
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,846	1,300	13,147	39,902	53,049
計	226,269	109,507	335,776	49,370	385,146
セグメント利益	10,115	8,159	18,275	1,174	19,450

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、運送業、売電事業及びゴルフ場事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,275
「その他」の区分の利益	1,174
セグメント間取引消去	358
全社費用(注)	△4,457
四半期連結損益計算書の営業利益	15,351

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。